



京都大学大学院医学研究科

医学教育学分野 大学院生募集要項

京都大学医学教育推進センターでは、「医学/医療者教育学分野の研究」および「質的研究手法を用いた臨床研究」に関心のある博士課程大学院生（医療者が望ましい）を募集します。英文論文を査読のある学術雑誌にPublishし、学内の所定の審査で合格すれば、京都大学大学院から博士（医学）が授与されます。在学期間は4年間です。

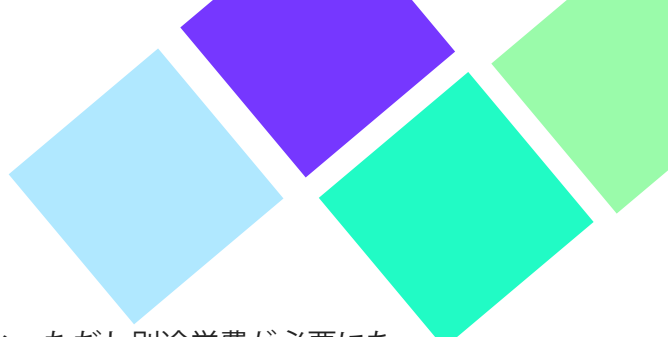
グローバル化の時代であること、また本学の歴史的経緯や特徴を鑑み、世界の医療者・研究者と積極的に交流する意志のある方を望みます。具体的には、英語がある程度できて嫌いでないこと、学びに対して貪欲であること、人間的にIndependentであること、異文化コミュニケーション能力にある程度自信があること、医学（臨床）および教育が好きであること、を期待します。

医師を含む医療者の方については、量を減らす形で臨床を続けられます（し、ぜひ続けていただきたいと思います）。原則、現在勤務している医療機関において、非常勤の形態で勤務を継続いただくのが望ましいと考えていますが、適宜対応します（本課程は、社会人大学院制度をとっておりません）。こちらから勤務先を提供することもある程度は可能です。

実際の大学院での学習・研究は、2週間に1度（1回2時間程度）、Oxford大学のチュートリアルを参考にした、指導教員との「対話」を通して進めていきます。よってSkype®などによるPart-time Distant Learningの形も可能です。また当研究室に関わる大学院生・研究生が集まって行うリサーチミーティング（ゼミ）も適宜行っています。また院生になることで、本学の医学図書館にある書籍や雑誌を学内外から電子ジャーナルの形で読むことができます。

希望があれば、本研究室に所属した立場のまま、本学の社会健康医学専攻で開催されているMaster of Clinical Research Course (MCR Course)に参加することもできます。量的研究については本研究室では詳しい指導は





できませんので、このMCRコースの参加をご検討ください。ただし別途学費が必要になります。

また当研究室では、大学院在学中の海外の医学・医療者教育学修士課程への留学を積極的に推進しています。当研究室は医学/医療者教育学分野において先導的な大学（英国ダンディー大学・英国ロンドン大学・カナダ国マギル大学・オランダ国マーストリヒト大学）と連携があります。必要な英語力があれば、積極的に留学をサポートします。

国際学会での発表も強く勧めています。当研究室のメンバーは欧州医学教育学会・アジア太平洋医学教育学会・米国医学教育学会などの医学教育系の学会に加えて、臨床系の学会（米国内科学会・世界家庭医/総合医学会など）などで、これまでワークショップの主催・招待講演・一般口演発表などを通して、世界に発信してきています。

北米や西欧諸国においては、医学/医療者教育分野の研究がこの10年ほどで注目されるようになってきました。しかしながら本邦では未だその量はかなり少ないと言わざるを得ません。また質的研究手法を用いた臨床研究に関しても同様のことが言えます。当研究室では、これらの分野において世界レベルの研究を行い、国際的な発信をしていくことを目標としています。

入学手続きに関して、申請書類の出願時期は9月頃、入学試験は10月末～11月初旬頃、合格発表は11月末頃の予定です。詳しくは大学のHP (<https://www.med.kyoto-u.ac.jp/J/>) を参照ください。また、出願前に下記まで一度ご連絡下さい。

志のある方のApplyをお待ちしています。

京都大学医学教育推進センター 大学院教育担当 准教授 錦織宏
京都大学医学教育推進センター長 教授 小西靖彦

〒606-8501 京都市左京区吉田近衛町
tel. 075-753-9545 email. cme_kyoto@yahoo.co.jp

